



勝泉昌紀社長（右）と従業員

（株）勝泉建築板金工業は、住宅分野における建築板金業務全般を請け負っており、特に、既製品では対応できない厚もの（厚い金属板）を用いた特注品の加工を「強み」とし、勝泉ブリキ店として創業以来、

### 金沢城公園復元工事に貢献

行きます。聞きます。提案します  
そして 伴走します  
～商工会の支援事例～ 25  
建築板金業の  
事業再構築支援について

支援先：（株）勝泉建築板金工業

<https://www.katsu-bankin.co.jp/>

### きつかけは補助金の申請

住宅分野における建築板金工事では、地域一番の実績があり、「リフォーム市場は拡大が見込まれるため生産設備を増強したい」との相談が支援の始まりです。

住宅分野の強化には、多様で精度の高い建築板金技術はもちろん、大型建築物に対応できる新型曲板機の導入が必



河北門（一の門）修復時の工事

八十年余の長きに亘り板金技術の歴史を刻んできました。「お客様の喜びを自分達の喜びとし、苦勞・工夫を惜しまず、釘やビスの一本にいたるまで心を込めます。」を経営理念として事業を続けていきます。

平成の金沢城公園復元工事において「金沢城菱櫓・橋爪門続櫓」「河北門（一の門）・鼠多門」の鉛瓦葺き工事や銅板工事に貢献しています。

### 経営の舵取りを決断

要であり「ものづくり補助金」にチャレンジすることになりました。

当初は既存事業である「住宅の新築及びリフォームの拡大」をテーマに新型曲板機の導入を補助金の柱にして申請支援を行いました。が、残念ながら採択に至りませんでした。

くやしい思いで支援先を訪問し、「採択されるまで諦めずに再チャレンジしたい。」との自身の思いを社長にお伝えしたところ、社長から「どうしても導入したい設備であり、全額自己資金での導入も考えたが、井原さんがそう言うってくれるなら一緒に頑張りたい」とおっしゃっていた。

き、再度チャレンジすることになりました。



導入した曲板機

その後、社長とヒアリングを重ね、当社の経営資源の見直しや市場分析を再度行い、ゼネコン業者をターゲットとする「非住宅事業への新分野展開」をテーマに、国の事業再構築補助金の新規申請と、ものづくり補助金の再申請を行いました。

その結果、両補助金ともに採択され、昨年十一月に新型曲板機を導入することができました。

社長から「事業計画の内容も私の意見を尊重してくれて本当にありがとう。あなたのアドバイスで、激動の時代において思い切った経営の舵取りの決断ができた」とありがたい感謝のお言葉をいただきました。

### 新分野進出で受注拡大

主要設備を住宅向けの仕様から店舗や工場など非住宅向けに変更したことで、建材の大型化や長尺化に対応した製品の加工が可能となり、当社では、過去に実績がない非住宅分野における受注獲得に繋がりました。

新設備を導入してまだ三か月にも関わらず、店舗の新築、改修、工場の増築で三件の注文を受けました。更に、倉庫の増築及び改修、工場の改修

で三件商談中です。

品質面では、熟練工に頼らずとも曲げ加工において精度の高い角度調整が可能になるとともに、板金特有のひずみ抑制に当社の強みである溶接・仕上げが加わることで、意匠性の高い板金製品の供給が可能となりました。

一方、生産性の面では、曲げ加工の自動化によって、加工時間を導入前と比較して九十分短縮することができました。

コスト面では、経験の浅い従業員でも操作可能な導入設備によって作業の平準化が図られ、熟練工の時間外労働の削減による低コスト化に繋がりました。

#### 担当経営指導員から一言

- 伝統ある建築板金について社長の胸をお借りするつもりで支援に望みました。数多くの事業者に支援が行き渡るよう今後も邁進いたします。

津幡町商工会 経営指導員  
井原 和久

#### （株）勝泉建築板金工業

T 929-10326

河北郡津幡町清水チ371-4

TEL 076-289-2715

この事例は、令和三年度石川県商工会優秀支援事例の最優秀賞を受賞しました。